

お薬手帳を上手に活用しよう!!

気をつけたい薬の飲み合わせ

薬は飲み合わせにより、体調を崩したり、場合によっては生命にかかわることがあります。

こんなことはありませんか？

- 病院でもらった薬を服用中に、市販薬を服用する。
- 複数の病院にかかる際に、処方内容を伝えていない。
- 症状が似てるからと家族の薬を服用する。
- 残っていた昔の薬を服用する。
- 薬の服用時に飲酒する。

危険な飲み合わせを防ぐには

① 病院・薬局に行く際は、「お薬手帳」を持参する。

かかりつけ薬局を作ることで、薬の履歴管理ができ、普段から気軽に相談ができます。

東日本大震災後のお薬処方でお薬手帳の服薬履歴記録が役立ちました。

② 市販薬等に関しても、お薬手帳に記載する。

③ 前回の薬が残っている場合などは、お薬手帳に残っている数等を記載して受診の際に相談する。

お薬手帳を活用することで、飲み合わせのリスクを下げるだけでなく、余計な薬をもらうことが減り、家計の負担軽減となります。



薬局では、「保険証」と「お薬手帳」を提示しましょう!

※健康保険の資格喪失後や扶養から外れた場合、健康保険証は使えません。速やかにご返却ください。



ジェネリック医薬品で家計を節約しませんか？

ジェネリック医薬品とは

先発医薬品（新薬）の特許が切れた後につくられたお薬です。

先発医薬品と主成分が同一であることなどが審査され、国から製造・販売が承認された安価なお薬です。

疾病毎の負担軽減例

一般的な先発医薬品での処方ケース（3割自己負担の場合）

※先発医薬品の種類、処方量により違いがあるためあくまでも目安です。

疾病名	一月の差額	年間（365日）の差額
高血圧	817~628円	9,943~7,643円
脂質異常症	779~387円	9,471~4,708円
糖尿病	902~561円	10,972~6,822円
花粉症	265~130円	3,198~1,577円

ジェネリック医薬品を処方してもらうにはどうしたらいいの？

ジェネリック医薬品は、
医師による処方せんが必要
ですので、まずは、

**医師・薬剤師にご相談
ください。**

使用できる病気（効能）が異なる場合や在庫がない場合など切り替えることができない場合があります。


切り取って保険証、お薬手帳に貼りましょう。

医師・薬剤師の皆様へ
ジェネリック医薬品を
希望します。

医師・薬剤師の皆様へ
ジェネリック医薬品を
希望します。

**医師・薬剤師の皆様へ
ジェネリック医薬品を
希望します。**

ジェネリック医薬品に関する
ご説明をお願いします。

 **全国健康保険協会**
協会けんぽ

病院・診療所にて



先生、このお薬は
ジェネリックに
変えられますか？

はい、このお薬なら
ジェネリックに
変えられますよ。

また
は

薬局にて

処方せんはこれですが、
ジェネリックに変えられますか？

3種類のお薬が
出ますね。2種類は
ジェネリックに
できますよ。



※処方せんの「変更不可」欄
に医師のサインがなければ、
薬局でジェネリック医薬品
に変更できます。

保険証やお薬手帳に貼るだけで
簡単に医師や薬剤師に意思表示
をすることができます。



※お試し処方も可能です。一度ジェネリック医薬品をお試し下さい。

